

少年少女世界伝記全集

シュバイツァー

竹崎 有斐



主婦の友社版

少年少女世界伝記全集 3

シュバイツァー

	竹 崎 有 斐
	シュバイツァー 主婦の友社 昭和52年(1977)1月30日発行 162p 22cm 〔分類〕909

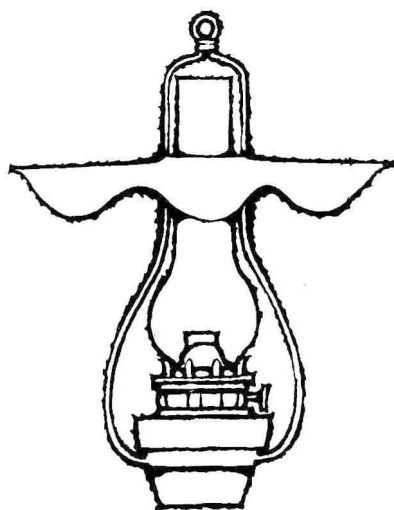
筆 者	竹 崎 有 斐
発 行 者	石 川 晴 彦
印刷・製本	凸版印刷株式会社
定 価	480円
発 行 所	株式会社 主婦の友社 東京都千代田区神田駿河台1-6 郵便番号 101 振替 東京2-180番 電話 東京(03)294-1111(大代表)

少年少女世界伝記全集

シュバイツァー

文・竹崎有斐

絵・山本耀也



主婦の友社版

デザイン 駒宮録郎
装丁



もうれつなとっ組みあいがはじまりました。でも、シュバイツァーの最初の頭つきで、すっかり弱気になってしまったゲオルグは組みじかれてしまいました。





それは、パイプオルガンの、なんともいえないおごそかな
音おとの中なかに、つつまれたときのように、一枚まいの絵えから、神こう
々ごうしい何なにかが、シュバイツァーの心こころに伝つたわってきました。



これを読んだとき、シュバイツァーの心に少年のころ
ルマルの町で見た、黒人の像を思い出しました。



オゴエ^{かわ}川は、コンゴ^{かわ}川の北^{きた}に、ほぼ平行^{へいこう}して流^{なが}れている
大^{たい}河^がで、川^{かわ}の水^{みづ}と緑^{みどり}の原生^{げんせい}林^{りん}のほかはな^{なに}もみえなかつた
と、シュバイツァー^{じしん}自身^{しん}がいます。



なか
の中へにげこまねばなりません。



シュバイツァーは、ヘルメットをかぶり、いすを庭先にもち出して診察をはじめます。でも、熱帯特有のスコールがやってくると、薬をつかみ、カルテをかかえて、家



シュバイツァーは、いそがしい治療^{ちりょう}をつづけながらも、
バッハの曲^{きょく}の練習^{れんしゅう}を毎晩^{まいばん}つづけました。

みなさんへ

ふつう、偉人伝にかかれる人といえ、わたしたちの生まれる、ずうっと前の人が多いのですが、この密林の聖者、アルバート・シュバイツァー博士は、ちよっと手をのばせばとどきそうな、昭和四十年まで、アフリカで活躍していました。

それだけに、博士の伝記を読むと、すぐそこにおられるような、身近さを感じます。

それに博士は、天才でも超人でもないのです。小学校や中学校では、たいして成績もよくありませんでした。

なんだ、ぼくたちと、あまりかわらないじゃないか——。きっと、そう思われるかもしれません。ほんとうに、ごくあたりまえの子どもだったのです。

そのアルバートが、やがて、神学博士となり、哲学博士となり、そのうえ、医学博士となります。そしてその自分を、熱帯の密林の中で、病気に苦しんでいる人のために、ささげるのです。ほんとうに、ごくふつうの子どもだった、アルバート・シュバイツァーがです。

竹崎 有斐

もくじ

少年時代しょうねんじだい

肉にくの スー プ

.....

15

ふうがわりな子こ

.....

20

才能さいのうの 芽めば え

.....

28

かなしげな 顔かおの 像ぞう

.....

41

高こう校こう生せい活かつ

.....

48

だぶだぶのズボン

.....

61

学生時代がくせいじだい

.....

69

生 しょう 涯 が の友 とも	69
負 ま けずぎらい	77
人 じん 生 せい の決 けつ 意 い	85
アフリカへの準 じゆん 備 び	96
アフリカへ	105
ニワトリ小 こ 屋 や の病 びよう 院 いん	112
新 あら しい病 びよう 院 いん	124
病 びよう 気 き よりおそろしいもの	135
不 ふ 屈 くつ の心 こころ	140
あとがき	154
年 ねん 表 ひょう	158

少年時代



肉のスープ

コンスタンス湖から流れ出たライン川は、やがて、フランスのアルザスの丘陵につきあたって、大きく右に迂回します。このあたりは、フランスとドイツが、長いあいだ領土あらそいをして、ドイツ領になったり、フランス領になったりした